

課題に対応するための取り組むべき事項

抽出した課題から、その課題に対応するための取り組むべき事項として、15項目を展開し、それを4項目の重点課題（施策目標）に分類しました。

1 地域で自立した生活を応援する

- (1) 相談支援体制の充実
 - ・相談窓口の整備・連携
 - ・自立支援協議会の充実
- (2) 生活支援サービスの充実
 - ・福祉サービス（居宅介護、重度訪問、短期入所など）
 - ・補装具の支給
 - ・地域移行支援
 - ・介護保険サービスとの連携
 - ・専門相談（医療機関など）
- (3) 多様な住まいの確保
 - ・グループホーム、ケアホームの整備
 - ・住宅改修
 - ・施設入所

2 日中の活動の場の充実と就労を応援する

- (4) 就労への支援
 - ・ハローワーク、障害者就労・生活支援センターとの連携
 - ・就労移行支援、就労継続支援（A・B）
 - ・就労支援施設からの購入
- (5) ライフステージにおける日中の多様な活動の場の充実
 - ・児童デイサービス、生活介護
 - ・日中一時支援、地域活動支援センター
 - ・親子通園

3 社会参加を応援する

- (6) コミュニケーション支援の充実
 - ・視覚・聴覚のある人への通訳支援（手話通訳者・要約筆記者）
 - ・ボランティアの育成
- (7) 社会参加への支援
 - ・同行援護、行動援護、自立訓練(機能訓練・生活訓練)
 - ・補装具の支給
- (8) 健康づくりへの支援
 - ・保健（早期発見・早期対応、相談、療育支援）
 - ・子育て支援
 - ・医療(福祉医療等)、リハビリテーション
- (9) スポーツ・文化活動の推進
 - ・文化施設・スポーツ施設の活用
 - ・スポーツ大会への参加勧奨

4 福祉制度で地域生活を応援する

- (10) わかりやすい情報の提供
 - ・点字・音訳ガイド
 - ・ボランティアによる声の広報
- (11) 障がい理解を深める
 - ・障がい理解の促進
 - ・幼児教育の充実
 - ・教育環境の整備
- (12) 地域づくり
 - ・虐待防止、家族支援
 - ・地域の支援者のネットワークの構築
 - ・支援機関の連携体制の充実
 - ・ユニバーサルデザインによる生活環境の整備
- (13) 福祉人材・ボランティアの養成
 - ・サービス従事者のスキルアップ
- (14) 経済的基盤の整備
 - ・手当、助成制度
- (15) 災害への対応
 - ・地域防災対策の充実、関係機関との連携
 - ・福祉避難所の整備
 - ・要援護者の把握